

インターライ方式ケアアセスメント クラウドサービス サービスの概要

2021年4月1日

一般社団法人
ASP・SaaS・AI・IoTクラウド産業協会

目次

1. サービス名称と基本事項
2. サービス提供の目的
3. サービスの概要
 - 3.1 サービスの特徴
 - 3.2 システム利用動作環境
4. 利用形態
 - (1) 利用形態1
 - (2) 利用形態2
 - (3) 利用形態3
 - (4) 利用形態4
 - (5) 利用形態5
5. サービス機能
6. 運営／営業窓口
7. 料金
8. 運用

1. サービス名称と基本事項

① サービス名称

インターライ方式ケアアセスメントクラウドサービス
(略称; インターライ方式クラウドサービス)

② 提供スケジュール

サービス提供時期は、平成24年4月2日です。

③ サービス提供者

一般社団法人ASP・SaaS・AI・IoTクラウド産業協会(略称名: ASPIC)が、NPO法人インターライ日本とインターライ方式のライセンスの独占契約に基づきサービスの提供する。

④ 本サービスでクラウドサービス提供するインターライ方式 ケアアセスメント

インターライ日本より提供された「CAPコード確認表」に基づきサービス提供する。

2. サービス提供の目的

①国民に適切な介護サービスを提供する

- 今までは介護事業者(企業)まかせであったが、共通で網羅的な方法論(interRAI)を使用することにより、属人的なサービスの質のばらつきの発生を排除し、適切な介護サービスを提供する。

②介護従事者の人材確保・処遇改善と制度の維持を目的にインターライ方式ケアアセスメントを活用する。

- 国際標準採用による「介護の質の評価による差別化」を行い、顧客(介護事業者)への訴求力を高める。
- 質の高いサービスを提供する事業所への適切な評価・処遇を目指す。

③クラウドサービスによってケアアセスメントデータの収集分析を行う。

3. サービスの概要

インターライ方式ケアアセスメントツールをクラウドサービスにより介護ソフト会社にクラウドサービスを提供します。さらに、介護ソフト会社は、本サービスを介護事業者に提供する。

3.1 サービスの特徴

- ①アセスメント入力からCAPトリガー出力までの機能を提供する。
- ②介護ソフト会社のシステム（以下、介護システムという。）とWebAPI/ファイルアップロードを通して連携可能である。
- ③介護システムを介さずに利用可能である。

3. 2 システム利用動作環境

サービス利用者の環境は次のとおりである。

① OS・ブラウザ環境

- ・Windows OS 利用
 - Internet Explorer 8.x/9.x
 - Firefox 8.x
 - Google Chrome 最新版 (バージョン自動更新されるため動作しなくなる可能性あり)
- ・MacOS 利用
 - Safari 5.x
- ・Android OS(2.1以降)利用
 - 標準ブラウザ (OS Version, 端末毎に異なるため動作しない可能性あり)
- ・iOS 利用
 - 標準ブラウザ (OS Version, 端末毎に異なるため動作しない可能性あり)

② モニタ解像度

- ・800×480ピクセル以上 (1024×768ピクセル以上推奨)

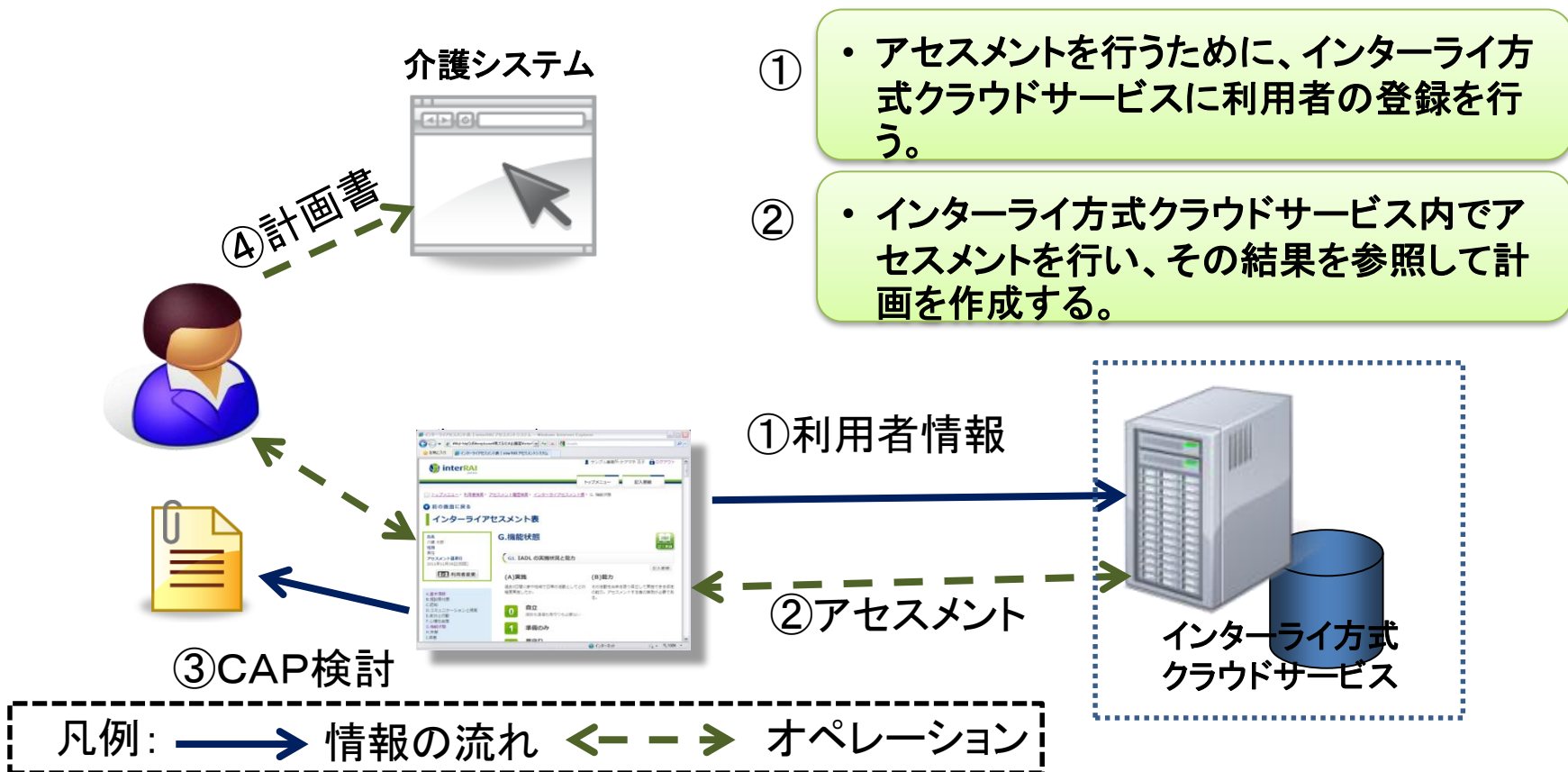
③ 回線

- ・インターネット

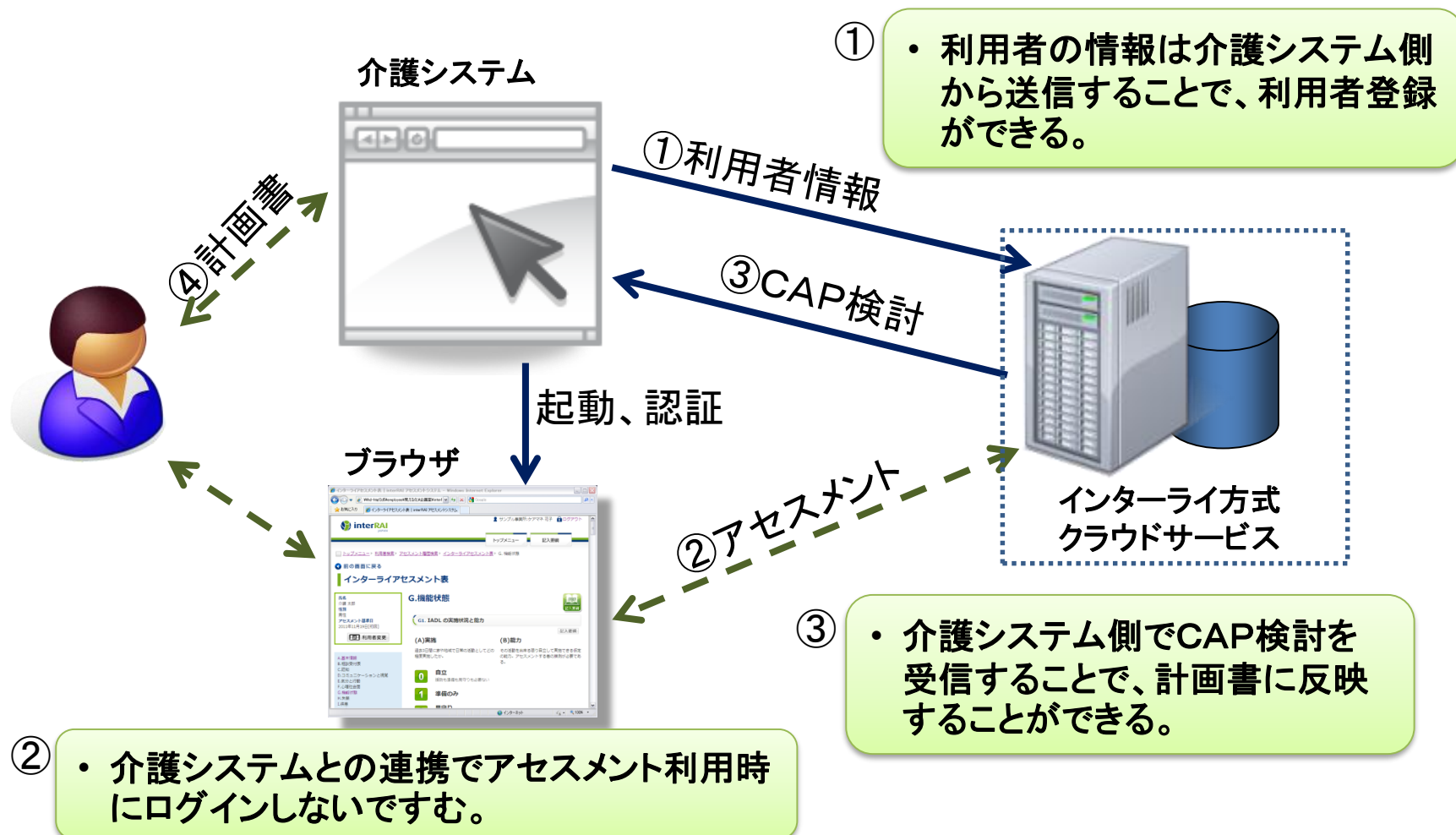
4. 利用形態

サービスの利用は、次の5つの利用形態を想定してクラウドサービスの提供を行う。

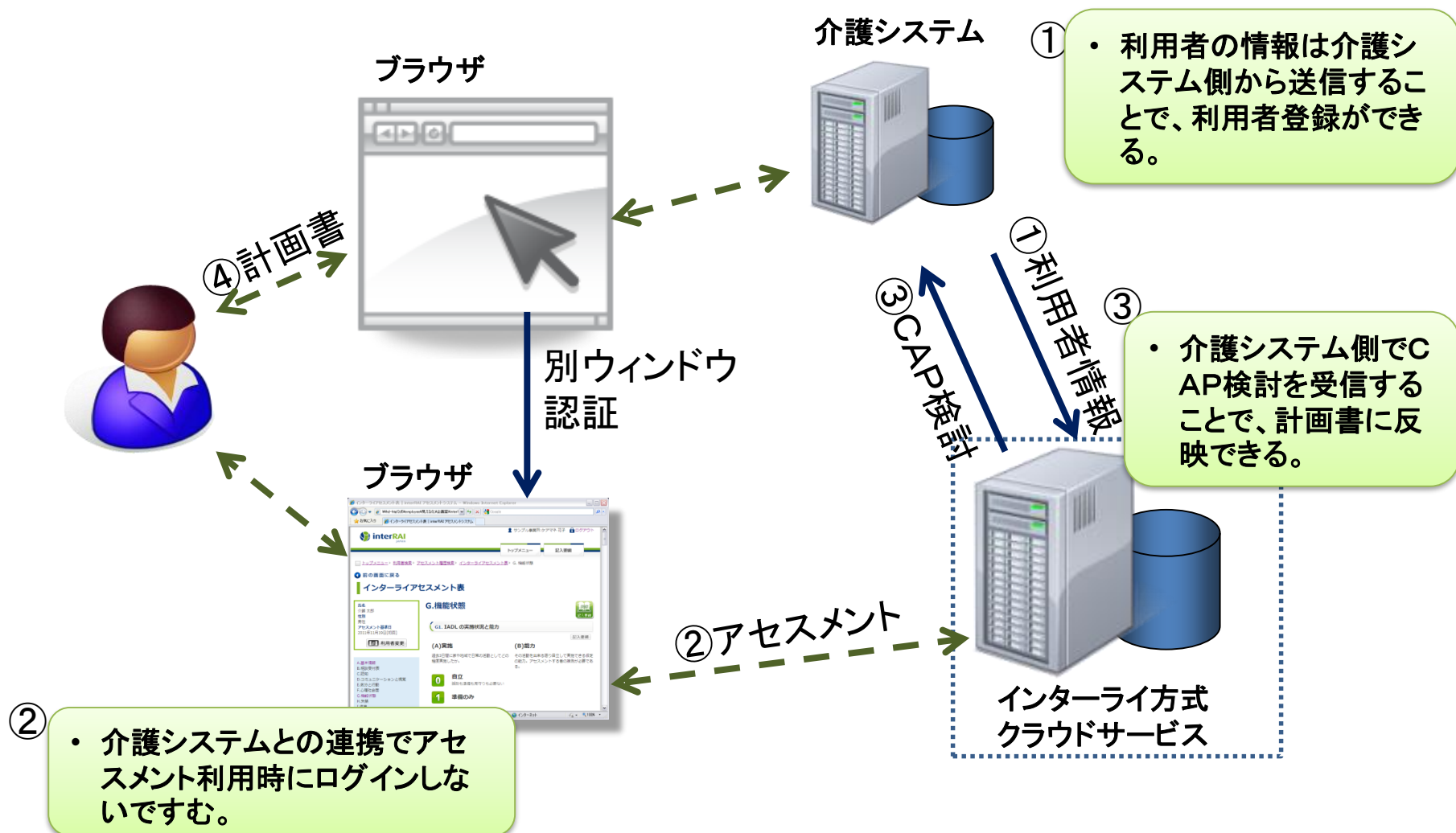
(1) 利用形態1；介護システムを介さずに利用する場合



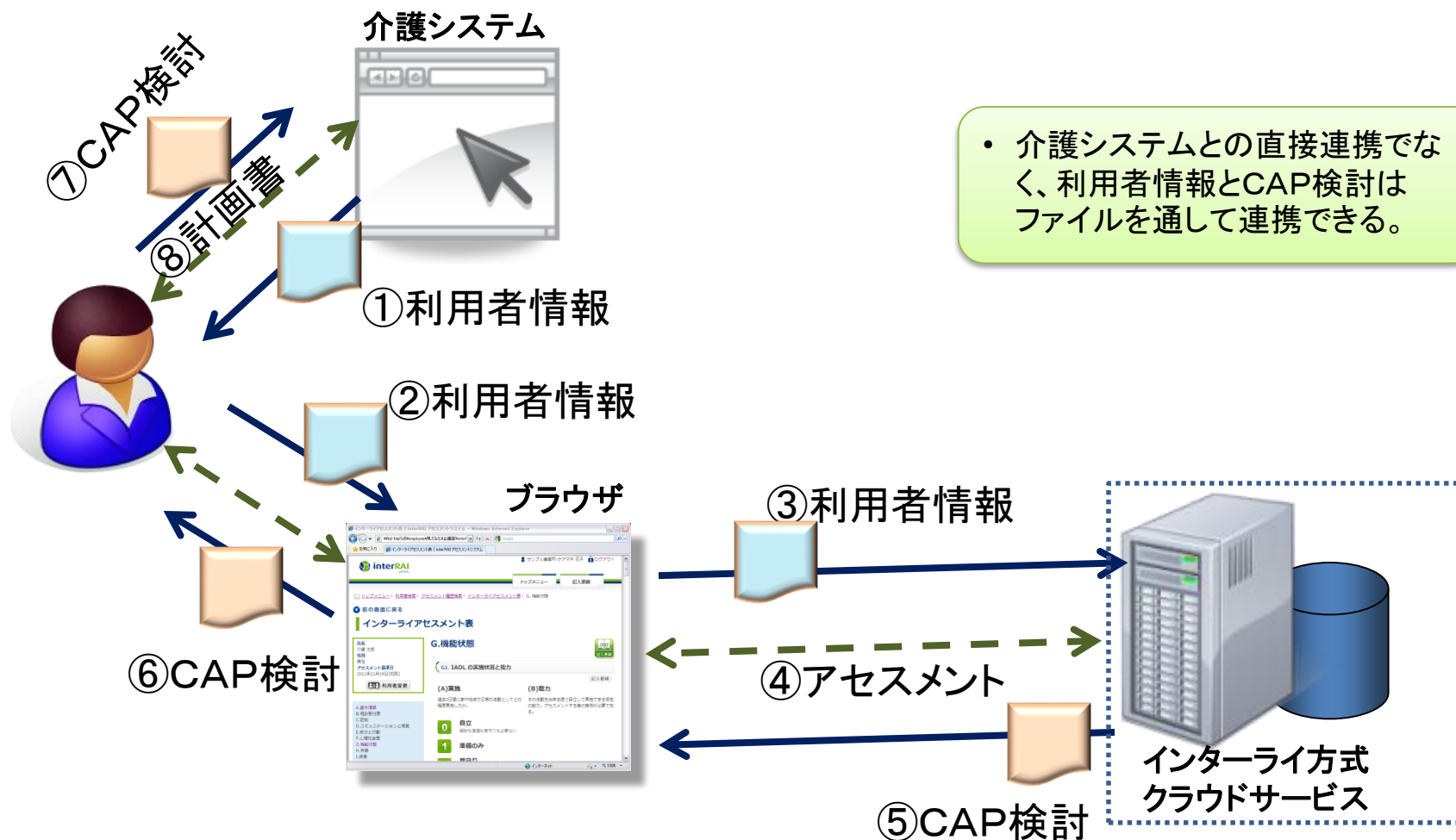
(2) 利用形態2; 介護システム(Webシステム以外)とWebAPI連携する場合



(3) 利用形態3; 介護システム(Webシステム)とWebAPI連携する場合



(4) 利用形態4；介護システムとファイル連携する場合



(5) 利用形態5; 介護システムを介さずに要介護者宅で利用する場合

- インターネットに接続できる環境があれば、訪問先でアセスメント入力ができる。



5. サービス機能

本クラウドサービスが提供する主な機能を次に示します。

分類	機能	概要
アセスメント管理	特定対象者のアセスメント履歴	登録されたアセスメント履歴を管理する。
	アセスメント入力	アセスメント(A-V)項目を入力し、システムに保管する。
	CAPサマリー表・尺度	保管されたアセスメントを元にトリガ選定しCAPサマリー表を作成する。その際に尺度の算出も行い表示する。 CAPサマリー表には状態記述、ケアへの反映、方法の記述が可能である。
	CAP検討	トリガされたCAPに対し検討内容を記入し保存する。
認証	認証画面	介護システム側からインターライ方式クラウドサービスを起動しない場合の認証画面である。
	認証連携	介護システムからクラウドサービスを起動する場合に利用する。 (ID/PASSWORDによるログイン方式)

6. 運営／営業窓口

ASPIC、介護ソフト会社、介護事業者及びインターライ日本の運営／営業窓口等は次のとおりである。

(1) ASPIC

- ① 介護ソフト会社との営業窓口。
- ② 介護ソフト会社とのシステム関係の問い合わせ窓口。

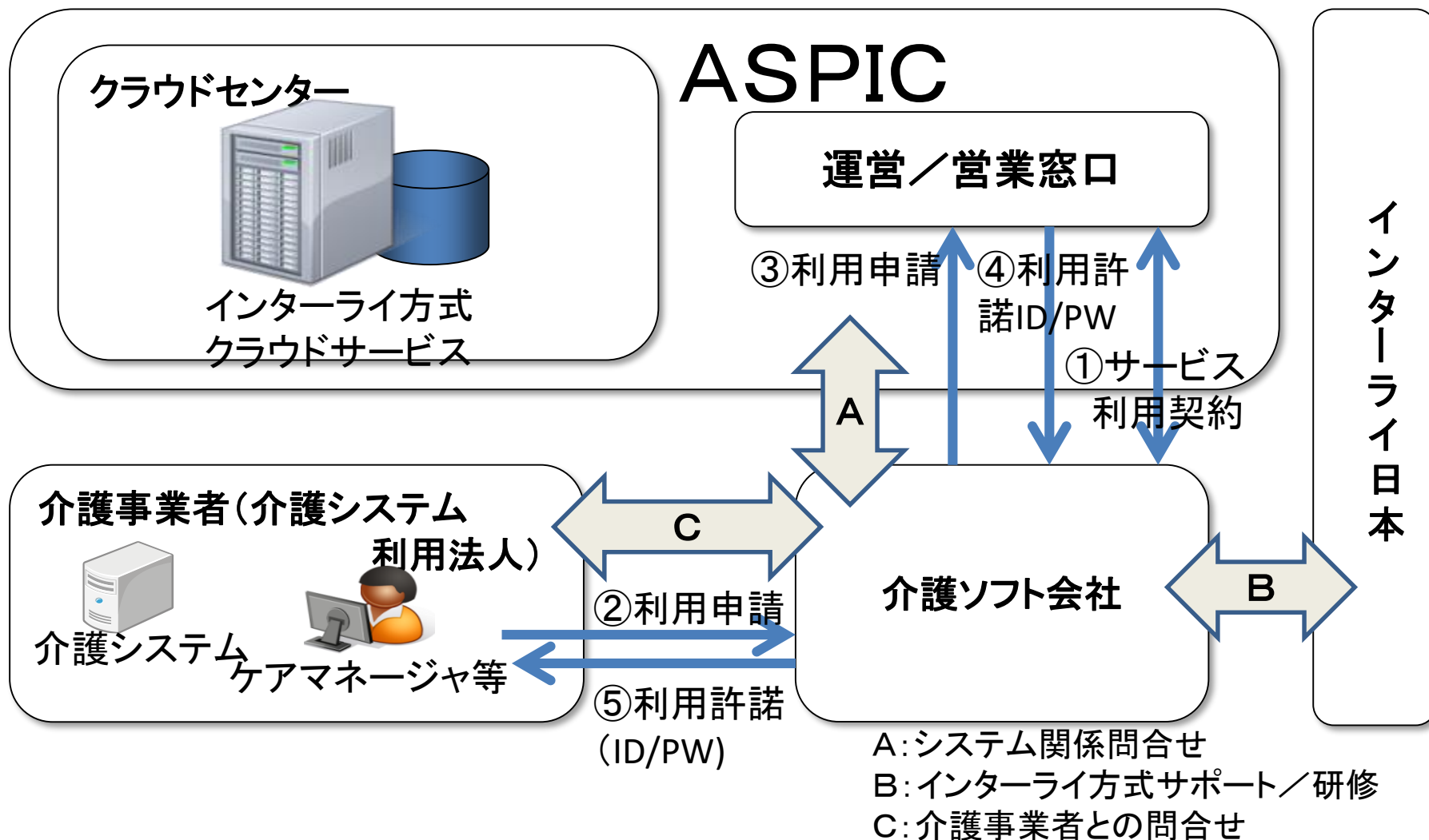
(2) 介護ソフト会社

- ① 介護事業者との問い合わせ窓口。
- ② インターライ方式のサポートについては、インターライ日本と対応を行う。

(3) インターライ日本

- ① インターライ方式のサポート、研修の窓口等。

上記の関係を下図に示す。



7. 料金

本クラウドサービスの料金は、次の方法により算定し、ASPICが介護ソフト会社から徴収する。

(1) 利用料

介護ソフト会社の利用者(介護事業者)である介護事業所の規模(ケアアセスメントを受けた人数)に応じて事業所ごとに年間利用料を決める。

1事業所のケアアセスメントを受けた人数が

40名未満	2,400円/年	200名～400名未満	7,200円/年
40名～80名未満	3,000円/年	400名～600名未満	9,600円/年
80名～120名未満	3,600円/年	600名～800名未満	12,000円/年
120名～160名未満	4,800円/年	800名～1000名未満	14,400円/年
160名～200名未満	6,000円/年	1000名～1200名未満	15,600円/年
		以下、同様に200名刻みで1,200円増	

上記利用料を介護事業所ごとに料金計算し、その合計が、当該介護ソフト会社が負担する利用料となる。

当初の料金計算は申告のあった事業規模をベースに計算し、半年ごとに実績数に基づき清算する。

(2) 初期設定料金

アカウント(アセスメント実施者)の1登録につき、3,000円

(3) 徴収方法

料金の徴収は、前記利用料計算に基づき各介護ソフト会社ごとに計算し、年間一括前払いで各介護ソフト会社から徴収する。

なお、前述のとおり半年ごとに利用実績に基づき前払いでいただいた利用料の清算を行う。

8. 運用

(1) サービス運用時間等

- ① 24時間の稼動を基本とし、必要に応じ一時的に中断する。
- ② 一時的中断については、メンテナンス実施時と障害予防のため行う。

(2) 障害対応

- ① ユーザー窓口対応は通常サービス時間帯(9時～17時)とする。
- ② 障害復旧・報告については適宜行う。